

令和4年度宮城県医師会事業計画

新型コロナウイルス「オミクロン株」の流行は社会に大きな影響を及ぼしている。日本の医療は世界最高水準を維持してきたが、今回、一部地域では医療提供体制が逼迫し崩壊の危機に直面した。幸い宮城県内では病院、医療機関、関係機関との連携により医療崩壊は免れた。新型コロナウイルスの流行は医療提供体制の逼迫だけでなく、コロナ以外の通常医療への影響も懸念される事態となった。県民の命と健康を守るため関係機関と協力し医療提供体制の強化に向けて全力で取り組んでいく。

厚労省は令和4年3月に開催された社会保障審議会医療部会「第8次医療計画等に関する検討会」において、地域医療構想の検討・取組の進め方、医療提供体制を取り巻く状況～超高齢化・人口急減の到来について～を検討し、地域医療構想を推進していく方針を示した。地域医療構想は医療機関の再編統合、過剰とされる急性期病床から回復期病床への病床転換を進めることである。しかし今回、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、急性期感染症病床は不足し、病床削減ありきの効率化、医療費削減の施策が医療崩壊の危機を招いてしまった。今般の新型コロナウイルス感染症対応により浮き彫りになった課題に対し、地域医療構想の中で、医療機関の役割分担、地域特性を踏まえた災害や感染拡大時の病院機能等を検証し、感染拡大時に対応できる医療整備計画の策定および医療機関の連携・再編への更なる取り組みが必要になった。

令和3年出生数は約84万人と少子高齢化が進んでいる。人口構造の変化への対応を図り、社会保障制度の安定的な基盤強化に努めていくべきである。地域における外来機能の明確化、かかりつけ医機能強化のための方策を検討していく。成育基本法における基本的施策では安心して産み育てる社会を目指し、胎児期～成人に至るまで切れ目なく保健・医療・福祉を統合し、障害者医療や難治性疾患の成人への移行医療にも対応している。一方、高齢者介護分野では、地域包括システムの推進、高齢者のQOLの向上を目標にACPの浸透や地域での行政・医療・介護等の連携等による新たな地域医療システムを構築していかなければならない。

医師の働き方改革に関しては、「働き方改革関連法」の中で、2024年度から開始される医師の時間外労働時間の上限規制や関連項目等についての指針が示された。確実に働き方改革が実行できる医師の勤務環境の改善と地域医療提供体制の両立が必要となる。

会員のみならず県民のための、かつ公益社団法人たる宮城県医師会として以上の理念を具現化するために、各種会内委員会等の活性化、地域に密着した医師会活動を基本に令和4年度の事業を以下のように推進する。

令和4年度活動計画項目

1. 医療基本問題とその検討
 - 1) 医療倫理の高揚と実践
 - 2) 国民皆保険の維持と医療への市場原理主義導入の阻止
 - 3) 医師育成機構の活動および医師不足及び偏在・医療崩壊への対応
 - 4) 個人情報保護法及び医療情報の開示への対応
 - 5) 医療事故調査等支援団体としての制度への対応
 - 6) 医事紛争対策の充実
 - 7) 医療安全対策と医療の質改善運動の普及

2. 会員の労働環境の改善と経営基盤の安定
 - 1) 医師の働き方改革に向けた医療環境の改善
 - 2) 勤務医の労働環境・待遇改善の推進
 - 3) 有床診療所、小規模病院の経営基盤の健全化
 - 4) 女性医師支援センターの充実
 - 5) 看護師を含む医療関係職種との連携

3. 医師生涯教育の充実
 - 1) 新専門医制度への対応と県協議会への参画
 - 2) 生涯教育事業の改善および専門医制度との連携
 - 3) 医師臨床研修制度への参画
 - 4) 医学研究の奨励・助成

4. 地域の保健、医療、福祉活動の一体化
 - 1) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応
 - 2) 地域医療構想の実現に向けた地域医療構想調整会議の活性化
 - 3) 地域包括ケアシステムの構築と多職種協働、在宅医療の推進
 - 4) 大規模災害対策及び JMAT 宮城の強化
 - 5) 救急医療の充実・強化
 - 6) がんゲノム医療への参画、がん治療の均てん化、緩和ケア医療の充実
 - 7) がん登録の推進とデータ活用への協力
 - 8) 糖尿病を含む生活習慣病への対応
 - 9) 母子保健・学校保健・産業保健・スポーツ医学等の充実

- 10) 労災・自賠責保険制度の運営協力
- 11) 少子・高齢社会への対応
- 12) 自死対策をはじめとするメンタルヘルスケアの充実
- 13) 医師無料職業紹介事業（ドクターバンク）の充実
- 14) 環境問題への取り組み
- 15) 医療情報システムの整備
- 16) 宮城県地域医療学会の開催
- 17) 警察活動に協力する医師の組織化
- 18) 東北メディカル・メガバンク事業への対応と協力
- 19) 受動喫煙対策の推進

5. 医師会活動の基盤整備、組織強化

- 1) 医師会館・地域医療連携支援センターの運営
- 2) 公益社団法人としての各事業の効率化
- 3) 郡市医師会との交流
- 4) 宮城県医師会健康センター事業の充実と推進
- 5) 研修医、勤務医、新規開業医の医師会加入促進と勤務医委員会の充実
- 6) 医政、広報活動、特に対外広報の充実
- 7) 宮城県医師会協同組合事業の推進
- 8) 宮城県地域医療情報センター事業の推進
- 9) 日本医師会と東北ブロック医師会及び郡市医師会活動への連携と協力
- 10) 適切な保険診療の推進と個別指導、監査への関与